

ぼくのノオト

⑧2 哀愁の津軽から

治療の薬がなかった頃、感染症で視力を失った少年は、生きるためにその門をたたいた。ボサマ（視力障害者）の門付け芸人として蔑まされながらも、師匠の三味線にひたすら耳を傾けた。三本の弦を弾き叩き続け、芸人としての誇りを抱くようになった青年は、誰にも見えないうものを見つめていたのだろうか。

しなやかで力強い津軽の民謡は、何世代も伝承されていく。その中で、今までにない独特のじょんがらの世界が創造されていくのだろう。

伝承されていくものに、紙の譜面や他人の評価はいらない。師匠の地元言葉、唄の節回し、自分だけの特別な価値あるものを修得した喜びは何物にも代えがたい。

津軽の人から、そんなメッセージを受け取った。



認定NPO法人 いわき放射能市民測定室

たらちねクリニック

院長 藤田 操

〒971-8162 福島県いわき市小名浜花畑町11-3 カネマンビル3階

Tel.0246-38-8031 診療科目 内科・小児科／診療時間 午前9時～12時・午後2時～5時(受付は30分前)／土・日・祝日休診